

JFA 第19回全日本女子フットサル選手権大会 関東大会 実施要項

1. 名称 JFA 第19回全日本女子フットサル選手権大会 関東大会
2. 主催 一般社団法人 関東サッカー協会
3. 主管 一般社団法人 関東サッカー協会フットサル委員会
公益社団法人 群馬県サッカー協会フットサル委員会
4. 協力 群馬県フットサル連盟
6. 日程
 - 1日目 <期 日> 2022年 11月 13日 (日)
<会 場> ZACROSアリーナぬまた (群馬県沼田市東原新町1801-1)
(沼田市民体育館) 電話：0278-24-9444
 - 2日目・ <期 日> 2022年 11月 23日 (水・祝)
 - 3日目 <期 日> 2022年 11月 27日 (日)
<会 場> 渋川市総合公園体育館 (群馬県渋川市渋川4230)
電話：0279-24-0535

7. 参加資格

(1) フットサルチームの場合

- ① 公益財団法人 日本サッカー協会 (以下、「日本協会」とする。) に「フットサル1種」、「フットサル2種」、または「フットサル3種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。日本協会に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。なお、適用対象となる選手の年齢は、「フットサル1種」チームは、「フットサル2種」「フットサル3種」とし、「フットサル1種」の選手は適用対象外となる。「フットサル2種」チームは、「フットサル3種」のみとし、「フットサル2種」年代およびそれ以上の年代の選手は適用対象外とする。
- ② 前項のチームに所属する2010年4月1日以前に生まれた選手であること。女子に限る。
- ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。但し、準加盟チームはこの限りでない。

(2) サッカーチームの場合

- ① 日本協会に「2種」、「3種」または「女子」の種別で加盟登録した単独のチームであること。日本協会に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、「2種」、「女子」チームは、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。なお、本項の適用対象となる選手の年齢は「3種」年代のみとし、「2種」年代およびそれ以上の年代の選手は適用対象外とする。
- ② 前項のチームに所属する2004年4月2日以降2010年4月1日以前に生まれた選手であること。女子に限る。
- ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。但し、準加盟チームはこの限りでない。

- (3) 都道府県大会を通して、選手は、他のチームで参加していないこと。所属するチームが複数のチームで参加する場合、またはサッカーチームとフットサルチームの両方に所属し、両方のチームが参加する場合を含む。
- (4) 選手および役員は、本大会において複数のチームで参加できない。
- (5) 参加チームは、傷害保険 (スポーツ安全保険等) に加入していること。
- (6) チーム代表者は、20歳以上で当該チームを指導掌握し、責任を負うことのできる者であること。なお、複数のチームの代表者を兼ねることはできない。

8. 参加チームとその数

参加チームは、次の各号により選出された17チームとする。

- (1) 都県出場枠 8チーム（都県各1チーム）
- (2) 開催地代表枠 1チーム（群馬県）
- (3) 前年度優勝枠 0チーム（前年度抽選のため、今回の1枠はなしとする）
- (4) 前年度大会登録数枠 3チーム（東京2、神奈川1）
- (5) 日本女子フットサルリーグ参加チーム枠 3チーム（略称）
5位：流経大、8位：さいたま、9位：すみだ
（日本女子リーグ2022-2023レギュラーシーズン5位以下のため、関東大会から出場）
- (6) 関東女子フットサルリーグ枠 前年度上位2チーム（略称）
1位：アニージャ、2位：城北レディース

※ 前年度大会登録数枠、または不測の事態により都県代表チームが決められた日までに欠場が決まった場合は、前年度の都県大会登録チーム数において、ドント方式によりその欠場枠を埋めることとする。

前年度登録数

東京28、神奈川11、栃木6、千葉6、茨城2、群馬2、埼玉1、山梨1

9. 大会形式

- (1) 17チームによるノックアウト形式で行う。なお、3位決定戦を行う。
- (2) 日本女子フットサルリーグ参加チーム3チームと前年度関東女子フットサルリーグ上位2チームをシードとする。

10. 競技規則

2021/2022「フットサル競技規則」による。

11. 競技会規定

以下の項目については、本大会の規定を定める。

- (1) ピッチ：原則として、40m×20mとする。
- (2) ボール：日本協会検定球：フットサル用4号球を使用する。
モルテン製 ヴァンタツジオ4000フットサル4号球
- (3) 競技者の数：競技者の数：5名、交代要員の数：9名以内
ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数：2名以内
- (4) チーム役員の数：5名以内（但し、通訳が登録されている場合は、6名以内とする。）
- (5) 選手の用具
 - ① ユニフォーム
 - (ア) 日本協会のユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
 - (イ) フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム（シャツ、ショーツ、ソックス）を参加申込書に記載し、各試合には正副ともに必ず携行すること。
 - (ウ) チームユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。
 - (エ) フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。

- (オ) シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
- (カ) 選手番号については1から99までの整数とし、0は認めない。1番はゴールキーパーが付けることとする。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。
- (キ) ユニフォームへの広告表示については、日本協会の承認を受けている場合のみこれを認める。但し、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。
- (ク) 正・副の2色については明確に異なる色とする。
- (ケ) 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
- (コ) 前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツおよびソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
- (サ) その他のユニフォームに関する事項については、日本協会のユニフォーム規程に則る。

② 靴：キャンバス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が紺色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのもの。(スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない。)

③ ビブス：交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。各チーム2色携帯すること。

(6) 試合時間

30分間（各15分間からなる2つのピリオド）のプレーイングタイムとし、インターバルは10分（第1ピリオド終了から第2ピリオド開始まで）とする。

(7) 試合の勝者を決定する方法（試合時間内で勝敗が決しない場合）

① 1回戦～準決勝：PK方式により勝敗を決定する。PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。

② 決勝および3位決定戦：10分間（各5分間からなる2つのピリオド）の延長戦を行い、決しない場合はPK方式により勝敗を決定する。延長戦に入る前のインターバルは5分間とし、PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。

(8) 試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止となった場合、その帰責事由のあるチームは0対3で敗戦したものとみなす。

12. 懲 罰

(1) 本大会は、公益財団法人 日本サッカー協会「懲罰規定」に則り、大会規律委員会を設ける。

(2) 本大会の規律委員会は、一般社団法人 関東サッカー協会フットサル委員会とする。

(3) 本大会において退場を命じられた選手・チーム役員は、自動的に本大会の次の1試合に出場できず、それ以降の処置については大会規律委員会において決定する。

- (4) 本大会期間中に警告の累積が2回に及んだ選手・チーム役員は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
- (5) 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近のフットサル公式試合にて消化する。全国大会へ進出となる場合は、全国大会にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
- (6) 本大会実施要項の記載事項に無い懲罰に関する事項は、大会規律委員会において決定する。

13. 参加申込み

- (1) 1チームあたり26名(選手20名、役員6名)を上限とし、選手は本大会の予選となる都道府県大会に登録していること。但し、3名を上限に本大会の予選となる都道府県大会に登録していない選手を記載できる。その場合、第7条に定める参加資格を満たしていなければならない。
- (2) 申込は、日本協会WEB登録システム「K I C K O F F」により大会エントリーを行うこと。
- (3) チーム名は短縮語を除き、日本語で表記しなければならない。
- (4) 申込締切日：2022年10月6日(木)～10月26日(水)15時 厳守
- (5) 前項の申込締切日以降の参加申込内容の変更は認めない。
- (6) 参加チームは、以下を大会エントリー時に添付すること。
- ① 日本女子リーグ、関東女子リーグや都県大会で登録した「フットサル大会登録票(写し)」
 - ② 「大会参加料納入報告書」
 - ③ 「プライバシーポリシー同意書」
 - ④ 「代表者会議出席者名簿」
 - ⑤ 「選手変更届(写し)」
- ※ 選手変更がある場合も同様に大会エントリー後、指定の期限まで

14. 選手証

各チームの登録選手は、原則として日本協会発行の選手証を持参しなければならない。但し、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。

※ 選手証とは、日本協会WEB登録システム「K I C K O F F」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。

15. 組合せ

本大会の組合せは、関東サッカー協会フットサル委員会において抽選により決定する。

16. 大会参加費 50,000円

17. 代表者会議

- (1) 日 時：2022年11月7日(月)19時30分～
- (2) 実施方法：Web会議(Zoom)で実施

後日、代表者のメールアドレスに指定のZoomミーティングのURLを送付します。

※ 事前に、Zoomが使用できるように各自ダウンロードとPCの設定をお願いします。

※ 参加チーム代表者1名は、代表者会議に出席しなければならない。

※ 代表者会議に欠席した場合は失格とする。但し、その可否については主催者が決定する。

18. 表彰

優勝・準優勝・第3位のチームを表彰する。

19. 出場権

上位2チームは全国大会に出場する義務と権利を有する。

〈開催日〉：2023年3月3日(金)～3月5日(日)

〈会場〉：静岡県/浜松アリーナ

20. ユニフォームチェック

新型コロナウイルス感染症予防対策として、マッチコーディネーションミーティングに代わり、キックオフ時刻の60分前に両チーム代表者、審判員で当該試合に着用するユニフォームおよびビブスを決定する。

21. 傷害補償

参加チームの責任において、出場選手および役員は傷害保険に必ず加入すること。怪我などの事故が発生した場合、主催者は一切の責任を負わない。

22. その他

- (1) 大会運営・競技進行を円滑にするため、参加チームおよびチーム関係者は別紙「大会参加・運営の注意事項」を遵守すること。
- (2) 新型コロナウイルスの感染状況等により、無観客試合とすることもある。
- (3) ピッチレベルでの飲水は、指定した場所でのみ認める。ピッチ内での飲水は認めない。
- (4) 傷病の手当については、救急車の手配は行うが、その後については、チームの責任において処置をすること。
- (5) 本大会に関するテレビ、動画、写真の権利は、全て関東サッカー協会フットサル委員会に帰属する。また、肖像権の使用は、前記フットサル委員会の承認を必要とする。
- (6) 参加チームと選手は、日本協会の基本規程および付属する諸規程（ユニフォーム規程等）を順守しなければならない。詳細については、日本協会ホームページを参照すること。
- (7) 新型コロナウイルス感染症の拡大により、大会が中止となった場合は、全国大会出場チームを抽選で決定する。
- (8) 本要項に記載のない事項については、関東サッカー協会フットサル委員会で決定する。

※ ホームページ掲載にあたり項目を一部省略しております。